記者資料提供（2021 年 9 月 3 日）
デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）近藤、大泉
TEL｜078-325-2235　FAX｜078-325-2230　E-mail｜info@kiito.jp

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
City of Design KOBE
Member of the UNESCO Creative Cities Network since 2008

「KIITO: 3 0 0（キイト サンマルマル）」オープニングプログラムの一部をオンライン配信！

オープニング記念トークやワークショップなど多彩なプログラムをお届けします。

神戸市の都市戦略「デザイン都市·神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として次のとおりご案内いたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸は、2021 年 8 月 12 日付の記者資料提供でお知らせしておりました、KIITO:300 オープニングプログラムの開催について、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、来場者および関係者の方々の健康や安全面を考慮し、一部のプログラムをのぞき、オンライン配信および延期が決定いたしましたのでご案内いたします。

9 月 18 日（土曜）より開設する、こどもの創造的学びと社会貢献活動のプラットフォーム〈KIITO:300（キイトサンマルマル）〉は、子どもからシニア、社会人、クリエイターまで、誰もが集まり、つながることのできる場を目指した、あらゆる世代へ開かれたプラットフォームです。この度、オープニング月間として、これから展開する様々なプログラム、プロジェクトに取り組むパートナーたちを迎え、オープニングを記念したトークセッションやイベントなどを開催します。
尚、各プログラムの詳細は Web サイトにて発表いたします。

KIITO:300 オープニングプログラム
日時：2021 年 9 月 18 日（土曜）～ 10 月 17 日（日曜）※月曜休館
会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO:300
参加：すべて無料（要事前申込）
※各プログラムの詳細、お申込みは Web サイト（https://kiito.jp/）をご確認ください。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、プログラム内容に変更がある場合がございます。

【プログラム詳細】
●トークセッション
〈オンライン配信〉「ブランディングが紡ぎだす―KIITO のこれまでとこれから」
これまでの KIITO や KIITO:300 のブランディングが生まれた背景とプロセス、ブランディングに込められた KIITO のこれからや活動に対する期待を、「KIITO クリエイティブ・コミッティ」的存在のアートディレクター・寄藤文平さんとコピーライター・岡本欣也さんから詳しくお聞きします。
日時：9 月 18 日（土）15:00～16:30
ゲスト：寄藤文平（アートディレクター／文平銀座）、岡本欣也（コピーライター／株式会社オカキン）
モデレーター：永田宏和（KIITO センター長）
お申込み：要事前申込、Webサイト（https://kiito.jp/）よりお申込みください。
※開催日が近づきましたら視聴用URLをメールにてお知らせします。

お問合せ｜デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当　住所｜兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4
開館時間｜9 時～21 時　休館日｜月曜（祝日または振替休日の場合はその翌日）　WEB｜https://kiito.jp/
※新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間やプログラム内容が変更となる可能性があります。最新情報は Web サイトをご覧ください。

〈オンライン配信〉「創造の交差点―秋田市文化創造館と KIITO のコラボレーションをデザインする」

2021 年 3 月に開館した秋田市文化創造館の活動についてお聞きするとともに、創造力による社会課題解決を目指す両館の共通点、また神戸と秋田という異なる土地での活動の特性を踏まえながら、これからの交流や連携に関する具体的な企画や将来の構想について両館の代表が語り合います。

日時：9 月 19 日（日）14:00〜15:30

ゲスト：藤浩志（秋田市文化創造館館長）

モデレーター：永田宏和（KIITO センター長）

お申込み：要事前申込、Webサイト（https://kiito.jp/）よりお申込みください。

※開催日が近づきましたら視聴用URLをメールにてお知らせします。

〈オンライン配信〉KIITO 発！「2023・新ファッション都市宣言！」

産業振興と都市ブランディングをテーマに掲げた「ファッション都市宣言」。50 年目を迎える 2023 年に向けて計画中の、「大人の洋裁教室」「ちびっこうべ」での継続的な取り組みをベースにした〈ダイバーシティ×ファッション〉の新たなプロジェクトについての公開企画会議です。

日時：9 月 19 日（日）15:30〜17:00

登壇：見寺貞子（神戸芸術工科大学 芸術工学部 博士（芸術工学））

モデレーター：永田宏和（KIITO センター長）

お申込み：要事前申込、Webサイト（https://kiito.jp/）よりお申込みください。

※開催日が近づきましたら視聴用URLをメールにてお知らせします。

〈オンライン配信〉「ボードゲーム×子どもの創造的学び〜すごろくやと KIITO が取り組む新しい創造教育のカタチ〜」

遊びながら発想力・想像力を鍛える教材として注目されるボードゲーム。トークでは、こどもたちがボードゲームに取り組むことによって育まれるソウゾウリョク（想像力と創造力）をテーマに、自主性や探究心の醸成にいかに機能するのかをゲストと共に話し合います。

日時：9 月 25 日（土）14:00〜15:30

ゲスト：吉川肇子（慶應義塾大学商学部教授）、山田将土（株式会社すごろくや）

モデレーター：永田宏和（KIITO センター長）

お申込み：要事前申込、Webサイト（https://kiito.jp/）よりお申込みください。

※開催日が近づきましたら視聴用URLをメールにてお知らせします。

〈オンライン配信〉「建築×総合学習×子どもの創造的学び〜「ユメイエ。」が育む２つのゾウゾウリョク〜」

11 月から開催する「ユメイエ。」は、こどもたちが自分の「夢の家」を設計し模型をつくることで創造的な学びを育むワークショップ。本プログラムを通し、２つのソウゾウリョク（想像力と創造力）をいかに育むことができるのか様々な視点から探ります。

日時：10 月 3 日（日）13:00〜14:30

ゲスト：畑友洋（株式会社畑友洋建築設計事務所）、城戸楓（東京大学 大学院情報学環・学際情報学府　特任助教）

モデレーター：永田宏和（KIITO センター長）

お申込み：要事前申込、Webサイト（https://kiito.jp/）よりお申込みください。

※開催日が近づきましたら視聴用URLをメールにてお知らせします。

〈オンライン配信〉テクノロジー×子どもの創造的学び～「VIVIWARE」を使った新たな取り組みについて～

KIITO:300 キャンプでは､プログラミング教育ツール｢VIVIWARE Cell｣を活用したワークショップを計画しています｡｢VIVIWARE｣を使ったプログラムをはじめとする VIVITA の事例紹介を交えながら、プログラミングと創造教育をテーマにお話しを伺います。

日時：10 月 9 日（土）13:00～14:30

ゲスト：穴山信一（VIVITA JAPAN 株式会社）

モデレーター：永田宏和（KIITO センター長）

お申込み：要事前申込、Webサイト（https://kiito.jp/）よりお申込みください。

※開催日が近づきましたら視聴用URLをメールにてお知らせします。

〈オンライン配信〉SDGs+クリエイティブミーティング

神戸をもっと元気にする地域共創イベントのアイデア提案発表会。フラワーロードを舞台に 2023 年実施を目指す「(仮）SDGs 地域共創イベント」に向け、学生や市民が考える共創イベントとは？フラワーロードを中心に神戸の未来について考えていきます。

日時：10 月 16 日（土）14:00～17:00

講師：槻橋修（神戸大学大学減災デザインセンター副センター長)、鶴田宏樹（神戸大学バリュースクール准教授)、山崎吾郎（大阪大学 CO デザインセンター准教授)、永田宏和（KIITO センター長）

発表者：神戸大学 V.School、神戸大学工学研究科減災デザインセンター「フラワーロード周辺エリアを舞台とした、神戸をもっと元気にするアクションプランを考える。」参加者、大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム「持続可能な将来社会のための SDGs をテーマとした地域共創イベントを提案せよ！」参加者、＋クリエイティブゼミ vol.36 リサーチ・まちづくり編「フラワーロードを軸に SDGs 共創イベントを考える。」参加者

お申込み：要事前申込、Webサイト（https://kiito.jp/）よりお申込みください。

※開催日が近づきましたら視聴用URLをメールにてお知らせします。

●ワークショップ

「すごろくやに学ぶ！ボードゲーム体験会」

KIITO:300 キャンプに常設する約 50 種類のボードゲームを監修する「すごろくや」のスタッフから、ルールを学びながら実際にボードゲームを体験します。

日時：9 月 26 日（日）13:00～16:00

講師：山田将土（株式会社すごろくや）

対象：親子での参加可（お子さまは小学生以上）

定員：30 名※要事前申込、応募者多数の場合は抽選

お申込み： Web サイト（https://kiito.jp/）よりお申込みください。

申込期間： 9 月 16 日（木）まで、抽選の場合は 9 月 18 日（土）までに抽選結果をご連絡いたします。

〈オンライン配信〉社会課題解決手法を学ぶ「1day ワークショップ」

地域活動や社会貢献活動に関心のある社会人の方や就職活動やインターンシップ対策を学びたい大学生などを対象とした、社会課題解決手法を学ぶワークショップです。KIITO がこれまで取り組んできた様々な課題解決の手法について、実例を紹介しながら考え方に触れ、実際の活動に活かすスキルを学んでいきます。

日時：10 月 2 日（土）13:00～17:00

講師：永田宏和（KIITO センター長）

定員：20 名※要事前申込、応募者多数の場合は抽選

お申込み：Webサイト（https://kiito.jp/）よりお申込みください。

※開催日が近づきましたら視聴用URLをメールにてお知らせします。

「センサー搭載型ロボット「KI-TA」を動かしてみよう！」

プログラミングツール「VIVIWARE」を使って、センサー搭載型ミニロボット「KI-TA（キータ）」の動きをプログラミングする、こども向けの入門編ワークショップです。VIVIWARE の基本操作を体験し、いろいろな動きを研究して KI-TA を自在に動かしてみましょう！

日時：10 月 9 日（土）15:00〜17:00、10 月 10 日（日）13:00〜15:00

講師：VIVITA エンジニア（VIVIWARE 株式会社）

定員：各日 10 名※要事前申込、応募者多数の場合は抽選

対象：小学 4 年生〜中学 3 年生

お申込み：Webサイト（https://kiito.jp/）よりお申込みください。

申込期間： 9 月 30 日（木）まで、抽選の場合は 10 月 2 日（土）までに抽選結果をご連絡いたします。

●Event

「チームマキコムズで KIITO:300 のオープニングを飾る立体看板をつくろう！」発表会「みんなで作った立体看板を見てもらおう！」

アートユニット・マキコムズを講師に迎え、ワークショップで制作した立体看板を、グランドオープンに合わせてお披露目します。こどもたちがプロデュースした発表会をお楽しみください！※関係者のみのため、一般お申込みの受付はございません。

日時：9 月 18 日（土）14:00〜15:00

講師：マキコムズ（マスダマキコ＋カワサキマキ）

〈延期〉地域課題解決＋クリエイティブ ミーティング in KIITO:300 ファーム　※要事前申込、応募者多数の場合は抽選

地域活動、社会貢献活動に関心のある方、実際に活動をされている方を対象に、第 1 部では、デザインの視点から、伝えたいことをわかりやすく、効果的に発信する手法を学ぶミニレクチャーを行い、第 2 部では、日々の活動での課題や悩みを共有し、話し合い、交流と連携を深めるワークショップを実施します。

日時：~~9 月 20 日（月・祝）14:00〜17:00（第 1 部：14:00〜15:00、第 2 部：15:00〜17:00）~~開催延期、日程調整中

ナビゲーター：和田武大（株式会社デザインヒーロー）、田村太郎（一般社団法人ダイバーシティ研究所）、戸田香苗（認定 NPO 法人しみん基金・こうべ）、永田宏和（KIITO センター長）

定員：40 名程度

対象：地域での活動、社会貢献活動に関心のある方、現在活動に携わっている方※個人、団体を問いません

●展覧会

〈会期変更〉神戸市中央区制 40 周年記念事業展覧会 マキコムズ「パタント絵　まちナカデコレーション！」

中央区制 40 周年記念事業として行われたワークショップ成果作品展。アートユニット・マキコムズと参加者が描いたポートタワーや異人館、南京町など神戸の景色を描いた全 13 点の作品を一堂に展示します。※申込不要

日時：9 月 14 日（火）〜10 月 17 日（日）9:00〜21:00

会場：2F プロジェクトスペース 2B

共催：神戸市中央区まちづくり課

【ゲストプロフィール】

穴山信一（VIVITA JAPAN 株式会社）
1973 年山梨県生まれ。鋼構造物を中心とした土木設計から公園などの遊具の商品開発から企画提案などを行う。その後、エンターテイメント施設の立ち上げなどに従事し、2016 年からは VIVITA に参画。さまざまな活動のプランニング、実施運営など全般に関わる。主に各地での VIVISTOP の立ち上げから、VIVITA BOOKS などの個別プロジェクトの企画、実施調整だけでなく活動のための運営まで幅広く動いている。

岡本欣也（コピーライター／株式会社オカキン）
1969 年生まれ。1994 年岩崎俊一事務所入社。2010 年オカキン設立。おもな仕事は、日本たばこ産業「大人たばこ養成講座」シリーズ、「あなたが気づけばマナーは変わる。」、グリコ「あ、大人になってる。」ホンダ「ハイブリッドカーは、エコで終わるな。」、キリンフリーの開発・ネーミングなど。日本郵政「年賀状は、贈り物だと思う。」やミツカン「やがて、いのちに変わるもの。」など岩崎俊一氏との共同作業も多数。http://www.okakin.jp/home.html

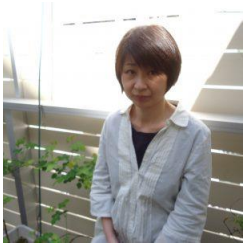
畑友洋（株式会社畑友洋建築設計事務所）
株式会社畑友洋建築設計事務所主宰。国内外を問わず建築物の設計、監理を中心に、空間に関わるデザイン、設計を行う。どのようなプロジェクトにおいても、必然的にその場所にしかない建築、空間のあり方を模索している。

城戸 楓（東京大学 大学院情報学環・学際情報学府　特任助教）
大阪府立大学人間社会学研究科博士後期課程卒業（人間科学博士）。
大阪教育大学教員養成開発連携センターにて 2014 年から 2019 年まで IR の調査を行い、現職では東京大学において教育工学分野において人材育成や防災関連の教育システムや尺度の開発を行う。その他、企業や NPO 法人における商材開発や活動の効果検証、ビッグデータのリサーチや解析などの受託研究なども。専門は認知科学、知覚と意識、機械学習、データサイエンス、など。

田村太郎（一般社団法人ダイバーシティ研究所 代表理事）
阪神・淡路で被災した外国人への支援を機に多文化共生や災害支援、復興まちづくりの活動に従事。2007 年にダイバーシティ研究所を設立し、企業の CSR や自治体施策を通じた多様性配慮の取り組みをサポート。東日本大震災直後に内閣官房企画官となり、官民連携での被災地支援を担当。現在も復興庁参与として東北復興に携わる。共著に「つないで支える」「企業と震災」「好きなまちで仕事をつくる」などがある。大阪大学客員准教授、明治大学兼任講師、関西大学非常勤講師。http://www.diversityjapan.jp

槻橋修（神戸大学大学減災デザインセンター副センター長）
富山県高岡市生まれ。建築家として数多くの店舗や住宅の設計を手がける。2011 年に発生した東日本大震災以降は、甚大な被害を受けたまちに対して、建築の視点からできることを模索しながら支援活動を継続している。『「失われた街」模型復元プロジェクト』には、全国各地から多数の建築家や学生ボランティアが参加した。2009 年日本建築学会教育賞（教育貢献）共同受賞。2014 年東日本大震災復興支援「失われた街」模型復元プロジェクトが第 40 回放送文化基金賞受賞（NHK 盛岡放送局と共同受賞）。2015 年日本建築学会賞（業績）共同受賞。主な作品に「氷見朝日山公園」(2015-2017)，「Book Farm 神戸市立北神図書館」(2019)「南町田グランベリーパーク・鶴間公園ランドスケープ」(2019, 福岡孝則と共同）などがある。2017 年より神戸大学減災デザインセンター 副センター長。

鶴田宏樹（神戸大学 バリュースクール准教授）
博士（農学）。専門は生物化学、社会連携。これまでの経験から、様々な知識を構造化、課題から提供価値を考える「価値工学」の学問分野の形成を目指している。文部科学省 EDGE-NEXT で「レジリエンス社会を牽引する起業家精神育成プログラム」の開発や神戸大学バリュースクールでは、PBL や FBL などの新しい教育プログラムの設計などに関わっている。新しい学問の創生と新しい教育手法に関する活動を展開している。B 型の牡牛座。趣味は音楽（ベース演奏）。



戸田 香苗（認定 NPO 法人しみん基金・こうべ 事務局長代行）
大学で日本語教育を専攻していたため外国人への支援に関わりはじめ、多文化共生の活動に従事。2002 年にこうべ子どもにこにこ会設立。2007 年夫の転勤に伴い横浜で中間支援 NPO の職員となり、コミュニティビジネスの推進や、横浜市の助成事業を協働事業として担当。2013 年に神戸に戻り、しみん基金・KOBE 職員。http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/

永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長）
1968年兵庫県生まれ。企画・プロデューサー。1993年大阪大学大学院修了後、大手建設会社勤務を経て、2001年「iop都市文化創造研究所」を設立。2006年「NPO法人プラス・アーツ」設立。2012年8月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長、2021年4月よりセンター長を務める。主な企画・プロデュースの仕事に、「水都大阪2009・水辺の文化座」、「イザ！カエルキャラバン！」（2005～）、「地震EXPO」（2006）、「ちびっこうべ」（2012～）、「EARTH MANUAL PROJECT展」（2013～）、「LIFE IS CREATIVE展」（2015～）などがある。

藤浩志（美術家／秋田市文化創造館／株式会社藤スタジオ代表、秋田公立美術大学教授）
1960 年鹿児島生まれ。京都市立芸術大学在学中演劇活動に没頭した後、地域社会を舞台とした表現活動を志向し京都情報社を設立。京都市内中心市街地や鴨川などを使った「アートネットワーク’83」の企画以来全国のアートプロジェクトの現場で「対話と地域実験」を重ねる。同大学院修了後青年海外協力隊員としてパプアニューギニア国立芸術学校勤務。都市計画事務所勤務を経て 92 年、藤浩志企画制作室を設立。各地で地域資源・適正技術・協力関係を活かしたデモンストレーションを実践。福岡県糸島市在住。NPO 法人プラス・アーツ副理事長。https://www.fujistudio.co/

マスダマキコ＋カワサキマキ（マキコムズ）
マキコムズとは、マスダマキコとカワサキマキによるアートユニット名。日常の何気ないことやモノから発想して、巨大な物、長い物、楽しい事、面白い事を思いついては、ワークショップにしています。大人も子どももマキ込んだり、マキ込まれたりしながら、周りの人々と作っていくのが得意です。

丸田康司（株式会社すごろくや代表取締役）
1970 年生まれ、愛知県豊橋市出身。東京・高円寺と神保町にある国内最大級のボードゲーム・カードゲーム専門店とその経営会社“すごろくや”代表取締役。企画、プログラム、ゲームデザイン、執筆、プロデュースなどを多岐にこなす。日本初のテレビゲーム開発者養成学校「HUMAN クリエイティブスクール」の第一期生を経て、1991 年より SEDIC→APE→チュンソフトと 15 年間テレビゲーム開発に従事。関わった代表作は『MOTHER2』『風来のシレン 2』『ホームランド』。その後独立し、2006 年 4 月に近代ボードゲーム・カードゲームの専門店“すごろくや”を設立。親子やカップルでにぎわう店舗展開と Twitter 割引」などメディアを活用した情報発信企画、オリジナルゲームの企画制作、書籍の企画/制作/執筆、先進的なボードゲームイベントやボードゲーム制作のワークショップ、講座、教育対談の開催など、ゲームを主軸として活動、現在に至る。

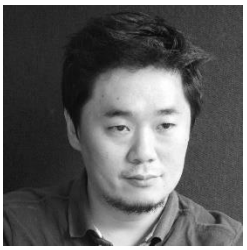
お問合せ｜デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当　住所｜兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4
開館時間｜9 時～21 時　休館日｜月曜（祝日または振替休日の場合はその翌日）　WEB｜https://kiito.jp/
※新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間やプログラム内容が変更となる可能性があります。最新情報は Web サイトをご覧ください。

見寺貞子（神戸芸術工科大学 芸術工学部 教授 博士（芸術工学））
武庫川女子大学家政学部被服学科卒業。関西ドレスメーカーデザイン専門学校卒業。神戸芸術工科大学芸術工学博士号取得。株式会社近鉄百貨店本店入社。自社 PB（婦人服を中心に紳士服・子供服・洋品雑貨）の商品企画及び MD を担当。1994 年に神戸芸術工科大学ファッションデザインコース専任講師就任後、芸術工学研究所所長、デザイン学部長、芸術工学研究機構長、大学院芸術工学専攻主任に着任し現在に至る。研究テーマは「ユニバーサルファッション」。年齢や国籍、障害の有無に関わらず、より多くの人が快適な衣生活を送れる社会環境創りを目指すこと。神戸ファッション協会理事や日本高等教育評価機構の審査委員を務めながら、社会福祉活動に参画しユニバーサルファッションの教育・普及に努めている。

山崎吾郎（大阪大学 CO デザインセンター准教授）
1978 年生まれ。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学、博士 （人間科学）。
専門は文化人類学。主な仕事に『臓器移植の人類学：身体の贈与と情動の経済』（単著、世界思想 社、2015 年）、『食人の形而上学：ポスト構造主義的人類学への道』（エドゥアルド・ヴィヴェイロス・デ・カストロ著、共訳、洛北出版、2015 年）などがある。

山田将土（株式会社すごろくや マネージャー）
1982 年生まれ、福岡県出身。国内最大級のボードゲーム・カードゲーム専門店とその経営会社“すごろくや”の卸売・販路拡大チーム、マネージャー。映画館や民間気象会社勤務を経験後、友人に勧められたボードゲームの魅力に夢中になり、2019 年にすごろくや入社。主に、卸売・販路拡大チームのマネジメントを行なっている。直近の企画に、「かたろーぐ追加カタログ 1：ドリンク・フード」、「すごろくやスタンド」などがある。その他、すごろくや製品の海外展開などで活動中。

吉川肇子（慶應義塾大学商学部教授、日本シミュレーション&ゲーミング学会副会長、Simulation & Gaming 誌チーフエディター）
1982 年京都大学文学部（心理学専攻）卒業、1985 年早稲田大学文学研究科修士課程（心理学専攻）修了。1988 年京都大学文学研究科博士課程後期（心理学専攻）単位取得退学、1999 年博士（文学）京都大学。2011 年慶應義塾大学商学部教授　現在に至る主要著書『クロスロード･ネクスト-続：ゲームで学ぶリスク･コミュニケーション』（2009/ナカニシヤ出版（共著））、『ゲームと対話で学ぼうーThiagi メソッド』（2018/ナカニシヤ出版（共著））



寄藤文平（アートディレクター、デザイナー／文平銀座）
1973 年長野県生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科中退。1998 年ヨリフジデザイン事務所、2000 年有限会社文平銀座設立。近年は広告アートディレクションとブックデザインを中心に活動。
イラストレーターとして挿画の連載や、著作も行う。http://www.bunpei.com

和田武大（デザイナー／株式会社デザインヒーロー）
1982 年神戸生まれ。専門学校卒業後、デザイン制作会社を経て、2014 年 7 月独立。
グラフィックデザインを中心に、市民参加型イベントや教育現場などに活動の場を拡大しつつ、社会的なプロジェクトに関わる。デザインを広く見つめ直し、取り組み中。http://www.designhero.co.jp

VIVITA JAPAN 株式会社
好奇心や好きなことを突き詰め形にする。実社会に活きるスキルへ成長させる自律共生型コミュニティ。グローバルネットワークの構築、アイデア実現のためのツール開発、クリエイティブ・フィールドVIVISTOPの運営などを行っています。

VIVIWARE 株式会社
アイデアを具現化し思考を拡張させるプロトタイピングツール「VIVIWARE」の開発を行っています。VIVIWAREは、おもちゃ・電子楽器・ロボット・デジタルアートなど自分のアイデアを気軽に試作することができます。

「KIITO:300（キイトサンマルマル）」概要　※9月25日（土）よりオープン

改修イメージ

〈 KIITO:300 キャンプ 〉
こどもたちの好奇心と探求心を刺激する新拠点です！
活動時間：土曜、日曜、祝日　10:00-17:00
〇活動内容
・クリエイターとともに企画した、こども向けのアートやデザインのワークショップやイベントを開催します。
・こどもの学びを育むツールとして注目をされているボードゲームを設置し、およそ50種類のボードゲームを自由に楽しむことが出来ます。

〈 KIITO:300 ファーム 〉
だれもが社会貢献活動・地域活動に取り組み、交流することができる協働と参画のプラットフォームです。活動時間：火曜-日曜　14:00-20:30
〇活動内容
・社会貢献活動を行う団体等に対して、相談対応、研修の実施、プロジェクト（種）の紹介、幅広い支援を行います。
・学生プロジェクトの立ち上げ、運営を支援します。
・社会人やシニア等、幅広い世代が参加できるプロボノ事業を支援します。
・社会貢献活動に関わる団体・個人・行政がつながり交流する拠点を運営します。

お問合せ｜デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当　住所｜兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4
開館時間｜9時～21時　休館日｜月曜（祝日または振替休日の場合はその翌日）　WEB｜https://kiito.jp/
※新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間やプログラム内容が変更となる可能性があります。最新情報はWebサイトをご覧ください。